

本町公共交通施策の今後の方針（東郷・藤田医大バス）

1 東郷・藤田医大バス概要

(1) 運行概要

目的：大規模病院までの交通手段を確保し、外来通院等の利便性の向上を図る。

経路：ららぽーと愛知東郷～藤田医科大学病院（直通）

運行日：平日（祝日、年末年始を除く。）

便数：12 便/日（往路復路各 6 便）

車両：中型バス

運賃：300 円/人（中学生以下・65 歳以上・障がい者は 150 円、未就学児無料）

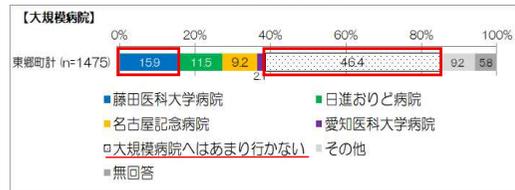
運行開始日：R3.4.1

利用人数：5,036 人/年（R6 実績）

負担金額：12,027,555 円/年（R6 実績）



【図 9】 もっともよく行く施設（H30 町民アンケート）



2 見直し事項

持続可能な公共交通の実現のため、運行事業者との協定期間が終了する **R9.3 末をもって、東郷・藤田医大バスを廃止する。**

(1) 理由

ア 需要が乏しい

- ・一定のニーズはあるものの、定時定路線のバスを運行するための十分な規模には達していない。
- ・特定の 1 施設への移動に特化したバスであり、目的が限定的であるため年間利用者数は 5,036 人（R6 年度実績）である。同じコミュニティバスである「じゅんかい君」は、日常生活の足として多くの需要がある。
- ・計画段階では、当初想定していた乗車定員 13 人程度のワンボックス車では乗りこぼしの発生を懸念する声（R1.10 公共交通会議）があったが、実績は利用者数が最も多い往路第 1 便でも平均 3.9 人/台（最大 9 人/台）と低調である。

イ 費用対効果が低い

- ・定時定路線のバスは、大量輸送を目的とした交通モードであるため、現状の移動需要に対しては過剰なサービスとなっている。R6 年度の 1 便あたりの平均乗車人数は 1.7 人である。
- ・1 人を輸送するのに必要なコストは以下のとおりであり、じゅんかい君の最も効率の悪い路線と比較しても効率は 1/4 以下である。

【図 10】 じゅんかい君との比較

R6 年度実績	東郷・藤田医大バス	じゅんかい君（北コース）	じゅんかい君（南西コース）	じゅんかい君（東コース）
台数	1	2	1	1
乗車人数	5,036	145,285	33,794	36,953
町負担額*	12,027,555	37,134,288	18,567,144	18,567,144
1 人あたり輸送コスト（町負担額/乗車人数）	2,388	256	549	502
1 便あたり乗車人数	1.7	17.8	12.3	12.3

※じゅんかい君は車両数で按分

(2) 対応

限りある資源で町全体の利益を最大化するため、東郷藤田医大バス廃止により生じる経費縮減分を本町の交通施策の中核を担う「じゅんかい君」の運行に充当し、**町内移動手段の確保・維持又は拡充を図る。**なお、東郷藤田医大バス廃止に伴う代替輸送は設けない。



（名鉄バス株）

藤田医科大学病院へは、名鉄バス路線により前後駅から 32,33,34,35 系統の計 56 便が接続し、徳重駅からは 34,35 系統の計 16 便が、赤池駅からは 35 系統の 8 便が接続しており、移動手段は確保されている。

3 スケジュール（予定）

- R7.7～ 運行事業者（名鉄バス株）、藤田医科大学病院、豊明市へ運行終了について協議
- R8.2 公共交通会議へ上程
- R8.9 運輸局への路線廃止手続き
- R9.3.31 運行終了